

発行元：くどうちあき脳神経外科クリニック

〒143-0016 東京都大田区大森北 2-4-10

TEL03-5767-0226 Fax03-5767-0327

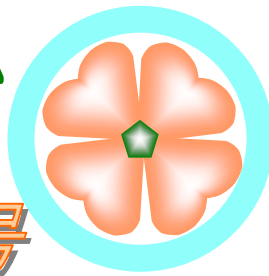
<http://www1.nisiq.net/~ch-kudoh/>

発行人：くどうちあき

編集委員：村橋・鈴木・細川

クローバー

創刊号



この度、皆様の御協力
(新聞名のご応募、誠に有難うございました)
もあって無事にクリニック新聞を
創刊することができました。

1人のスタッフから「新聞を作りたい」
という提案があり、フーmm!!
これがあると皆様に当クリニックを知っていただけ
身近に感じてもらえる、

患者さんとの交流の1つの表現になれる。

なァるほど、そうか〜ん!

と、そう考え企画が進んだのでした。

スタッフ一人一人の個性を全面に出した(?) 創刊号。

まさに壮観な気分です(笑)。

皆様に楽しんで頂ける内容となりますよう、

スタッフ一同、頑張っていきます。

今後、皆様との交流にふさわしいコーナーも企画して

参りますので、投稿等お待ち申し上げております。

どうか皆様、気楽に楽しみながらお読みください。

以上、胃腸の調子もい〜調子の院長工藤でした。

おあとがよろしいようで...



新聞名決定!

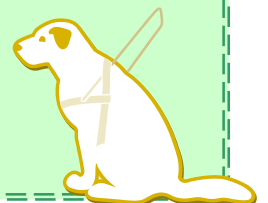
この度、皆様からの多数の応募を頂きありがとうございました。全スタッフの投票により井口 尚子様の“クローバー”に決定しました。なお本名掲載については御本人様の了承を得ています。クローバーの名前を大切にこの新聞を続けていきたいと思っています。

チャリティー新聞のお知らせ

次回の新聞発行は4月上旬に予定しています。次回からチャリティー新聞として発行していきます。

皆様もチャリティーに参加してみませんか? 新聞代というかたちでお好きな金額をクリニック常設の箱にお願いします。

基本的に新聞代は無料ですのでご自由に読んで下さい。皆様からの御好意は年末実施予定の皆様のアンケートをもとにチャリティー先を決めたいと思います。



クリニック紹介



診療科目

脳神経外科・心療内科
神経内科・整形外科
訪問診療・看護・介護



医療、ことに脳や神経に関する病気は、専門的でわかりにくく、そのために不安や心配ばかりが大きくなることがあります。私たちは、病気の診断や治療について、できる限りわかりやすい言葉で説明し、患者さんやご家族に納得していただくよう努力と工夫をしています。決して大きな病院ではありませんが、皆さんを複雑な医療の世界に、やさしく導く「水先案内人」でありたいと思っています。そして、ただ病気を治すだけでなく、皆さんが常に健康でいられるように、いつも身近に待(は)べる「主待医」でいたいと思います。最新の先端医学はもちろん、東洋医学や漢方、アロマ・セラピーなど五感に働きかける、あらゆる手法を使って、皆さんの心身の健康を実現して参りたいと思います。

訪問受付日

月・水・金

午前 8:00~9:00

午後 12:00~4:00

6:00~診療終了

スタッフ自己紹介

こんにちは！院長の工藤千秋です。大正12年、昭和2年生まれの両親のもと、昭和33年7月6日、長野県下諏訪町にて誕生しました。蟹座で血液型はO型、姉が1人います。趣味はゴルフと旅行、剣道(五段)です。千秋という名前、よく女性に間違われますが、その由来は。。男の子が欲しいという両親の一日千秋の思いから命名されたとのことです。両親の年令に近い患者さんに接すると離れている両親を思い出し、



つい親近感がわいてしまいます。私はよく母親に顔がそっくりといわれますが、その度に、ニッ！(似)とスマイル、ハッハ(母)と苦笑いです(寒かったですか？今の信州は極寒です、)。現在、スタッフからは「サザエさん」ちの「カツオ君」と言われています。きっと宿題をたくさん抱えているからでしょうか？！クリニック

はサザエさん一家のように、暖かでほのぼのとした安らげるファミリーでありたいと願っています。これからもがんばります！！

カツオ いや ちあきでした。

笑顔白慢の三人娘



受付の松田です。当クリニックに来院された全ての方に、『くどうクリニックに来て本当に良かった』と思っていただけるような対応を日々心がけています。クリニックの新聞では今後、“絵本”のコーナーの連載を担当します。大人の方こそ読んでいただきたい心温まるいやしの絵本を皆様に御紹介していきたいと思っています。また、趣味でもある味覚狩りをいずれの特集で取り上げてみたいと思っていますので楽しみに…。



受付の門井(カドイ)です。私自身、この職業についてまだ1年と少しの新米なので、まだまだ毎日が勉強の毎日です。そんな私が日頃気にしていることは、『毎日笑顔で患者様に接する』ということです。患者様がクリニックに来院するということは、皆どこかが具合悪いからなのに、スタッフの対応が良くないと、さらに具合が悪くなるのではないと思うからです。(自分自身、クリニックにかかることが多いので特に気になります)少しでも患者様が帰られる時には、体がつらくても気持ちだけは元気になって帰ってもらえたらと思います。



受付の清水です。受付というのは、患者様を一番最初にお出迎えし、一番最後にお見送りする。とても大切な立場にあると考えています。患者様が安心して治療を受けられるように、温かくお出迎えし、癒しの場を提供して行きたいとおもいます。また、以前スポーツトレーナーをしておりましたので、みなさんのお役にたてることがあればと思います。何かありましたらお気軽に、お声をおかけください。

新星

昨年の10月から勤務している、ソーシャルワーカー兼カウンセラーの村橋です。今年も「ほっ」と出来る憩いのクリニックを目指していきたいと思いますので宜しくお願い致します。この新聞も楽しく読んで頂けたら嬉しいです。毎号スタッフがそれぞれコーナーを担当して作っていきます。私は「クリニックの近況」をみなさんにお伝えしていきます。私の趣味は演劇鑑賞です。演劇が好きな方がいらしたら気軽に声を掛けて下さいね。



昨年8月から勤務している、放射線技師の細川です。趣味は、サッカー観戦と小旅行。サッカー観戦のためならどこにでも行ってしまふ。(笑)大きな声を出して体いっぱい応援すると、ストレス解消になっていいですよ!?小旅行は、過密スケジュールで観光する。これが私の旅行スタイル。時間を大切に使っているような感じが好きですね。クリニックでも、皆さんとの時間を大切にしていきたいと思っています。▽(^-^)-▽

白衣の天使



こんにちは。やや声が高めのクリニック婦長の安藤です。看護業務の他に、院内の香り(芳香浴)とアロマオイルを使ったハンド・マッサージを担当しています。私の自己紹介を、ここでオッホン！九州は大分出身のB型で、落語、漫才、狂言、歌舞伎、演劇、コンサート等あらゆる舞台を肌で感じ、感動や楽しさを味わうことが趣味です。あとカラオケも！いずれクリニックでカラオケ大会ができればいいなあというひそかな夢を抱いています。もう1つ駄洒落も(なかなか座布団は遠いですが、、、)。次号から芸人魂をもった私が、アロマのコーナーを掲載させていただくことになりました(ただの駄洒落で終わっても大目にみてくださいね)。日常のちょっと役立つアロマ(ほうこう)との付き合い方を紹介していきたいと思っています。私もまだまだ勉強中の身ですが、皆様に香りを身近に感じ一緒に楽しんで頂けたらと思います。香りって”ほうこう”なのかってね！どうぞよろしくお願いしま〜す。

初めまして、看護婦の鈴木です。背が高い方で泣きぼくろがあるのが目印です。クリニックでは皆様にお出しするハーブティーを最近では選ばせてもらってます。といっても最初から好きだったわけではなく、むしろハーブティーは飲みにくそうで苦手なほうだったんですよ。でもイライラして眠れなかったある夜、おみやげでもらったカモミールのハーブティーが目に入ったんです。“リンゴに似た香りが特徴で眠りを誘う効果があります”と書いてある、試しに飲んでみようか？くらいの気持ちでおそろおそろ飲んでみました。飲みやすかった事と、すぐに眠れたわけではありませんが気持ちがホッとしたのを覚えています。それからは説明書を片手に効果をフムフムと読みながらハーブティーを飲んでいました。次号からはハーブティーに関する事を、書かせてもらう事になりました。くわしい方、いろいろ教えてください。今は興味のない方もためしに飲んでみてください。私のように新しく楽しい発見があるかも知れません！



新聞記事募集のお知らせ

今後、皆様からの体験記・耳より情報などなど大募集します。字数は 200 字～400字程度にまとめて頂けると嬉しいです。応募先はクリニック常設の箱かクリニック宛に郵送をお願いします。掲載についてはご相談しながら進めていきたいと思っています。記事お待ちしております。

編集後記

創刊号いかがでしたでしょうか？初めての新聞作りで戸惑いもありましたが、このように完成し皆様のお手元に届けることができ、とてもうれしいです。

今回は、スタッフの自己紹介を中心に構成しました。今後は、年間5回発行し様々な企画を考えています。これからも皆さんに親しまれる新聞作りを目指していきますので、ご愛読を。

